

# 笑顔輝く せたっこ通信

令和7年6月  
大津市立瀬田幼稚園

## 「これってどうなっているの？」

子どもたちと遊んでいると「これってどうなっているの？」とか「これってどういうこと？」というつぶやきをよく耳にします。

土手にあるパイプに気付いた3歳児のA君「これって何？どうなってるの？」と不思議そうに覗いていました。5歳児のB君が来て「水が流れるかやってあげようか？」と声をかけてくれました。「どうやって水を流すの？」と聞くとB君は「ちょっと待って」と、砂場で水を流していた経験を思い出し、タンクに水を汲んで運んで来ました。A君は水が流れてくるのを下で待つことに…

勢いよく水が流れてくると予測をしたのでしょね。

しかし、水は流れてきません。「あれ？来ない。」とA君が言うと「ちょっと待って見るわ。」とB君も下に降りてきました



「もっと水を流そう！」とB君が言うと「Aもやるわ。」とB君の真似をしてタンクに水を入れようとするけど、上手く水が入りません。B君はその様子を見て、「押してブクブクしたら水が入るねん。」とやって見せてくれました。教えてもらったように水の中で、タンクを手で押しとブクブクと泡が出てきて、水を入れることができ、A君は「できた！！」ととても嬉しそうです。そして、タンクを手に土手を歩いていきます。3歳児にとってタンクを手に土手を歩くのは大人が思う以上に大変なことだと思います。

す。だけど、「どうなるのかな？」というワクワク感や5歳児のお兄さんが一緒に居て、手伝ってくれる心強さが後押しをしてくれ、見事に運び、水を流すことができました。3歳児と5歳児の関わりの中で子どもたちは、教えたり教えてもらったりしながら、

同じ目的をもって遊び、達成感を味わう経験をすることができました。



「これってどうなっているの？」子どもが感じたときから、考える力が芽生え、いろいろ試していく姿があります。これが子どもたちの「遊び」です。どうなっているのか正解はありません。もちろん失敗ありません。思っていたことと違っていたら、それは発見ですし、上手くいかなかったと感じたら「次はどうしようか。」とまた、考えます。その過程の中で人との関わりや道具、素材との関わりがあります。時間をかけて、ゆっくりと子どもたちの「これってどうなっているの？」を一緒に楽しんでいきたいと思っています。

【その後…】



少しずつ興味をもった子どもたちが集ってきました。

翌日には4歳児も仲間入りし、樋をつなげて、さらに遠くまで流れるように試しています。



さらに、ビールケースなどで高低をつけたり、タンクだけでなく、じょうろやバケツなど思い思いの道具を使って水を流したりする姿がありました。

やっぱり子どもたちの考えること、試してみることはおもしろい！！

この通信は大津市のホームページからも見て頂くことができます。

